

# 二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

令和5(2023)年 4月14日

国立市立国立第二中学校

校長 黒田 宏一

国立市富士見台3-30

電話 572-2187

## 「共に学び、共に助け合い、共に生きる国立二中！」をめざして

校長 黒田 宏一

昨年度末の3月17日(金)に、第65回卒業式を挙行し194名の生徒が巣立っていきました。当年度の卒業生は臨時休業などの多くの困難と向かい合い、多感な3年間を乗り越えてきた立派な生徒の皆さんでした。まさにその力は「共に学び、共に助け合い、共に生きる」を表現し、確実に後輩に引き継がれています。その生徒でさえも彼らの先輩から、「何があっても、前を向き明るく生きること」を受け継いできたのです。そのようにして中学生は、学校で過ごす上での伝統や校風を受け継ぎ自分たちの生活に生かしています。本年度もその伝統や校風をしっかりと引き継いでほしいと願っています。

4月7日(金)には、第66回入学式が、4年の歳月を経て新入生が一堂に会して挙行できました。本年度は187名の1年生が入学し、全校生徒578名、特別支援学級、通常学級を合わせて19学級での出発です。新1年生を含め卒業生から受け継いだバトンをしっかり握りしめ、国立二中での新たな学校生活がさらに充実したものとなるよう心から期待しております。教職員一同、全力で教育活動に取り組んで参ります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本年度も変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。ここに、本年度の学校経営の方針をお知らせいたします。

### 《 教育目標 》

たくましく現代に生き、平和で幸福な未来社会を創造する人間性豊かな生徒の育成をめざす

一、よく考え進んで学習する生徒

一、思いやりをもち協力する生徒

一、自らの心と体をきたえる生徒

一、正しく判断し実行する生徒



### 《 令和5年(2023年)度の学校経営の重点 》

#### 1. 令和5年(2023年)度の重点目標

共に学び、共に助け合い、共に生きる 「共学」「共助」「共生」の国立二中

#### 2. 指導の柱(重点)

##### (1) 意欲を高める学習指導～共に学ぶ「共学」

- ①全教職員の英知と創意工夫を結集し、主体的に学習に取り組む生徒、共に学ぼうとする生徒の育成をめざす。
- ②「わかる喜び」のある授業、意欲の高まる授業づくりに励み生徒の自己肯定感を醸成する。
- ③学びの質を高めるため、授業改善を推進し、「基礎的な知識・技能」の習得に努める。
- ④「思考力・判断力・表現力」を育て、生徒の「学びを活用する力」の伸長を図る。
- ⑤GIGAスクール構想に基づき整備されたICT環境により、教育用タブレットの効果的活用について積極的に推進する。

##### (2) 規範意識を高め、自他を敬う生活指導～共に助け合う「共助」

- ①率先して全教職員が、生徒の模範となる行動・教育活動の実践を行う。
- ②生徒一人一人に寄り添い、生徒が安心して生活できる(居心地の良い)場を作る。
- ③特別の教科「道徳」の授業を要として教育活動全般を通じて心の教育の充実を努め、「感謝・思いやりの心、共助の精神」を育み、共に助け合う生徒の育成をめざす。

##### (3) 互いの良さを認め合う特別活動～共に生きる「共生」

- ①限られた時間の中で、生徒が主体となって活動する学校行事、生徒会活動などの充実を図り、生徒の「自分たちの学校」との意識を高める。
- ②全教員が力を合わせ学級経営、学年経営の充実を図り、温かな人間関係を構築する。
- ③学校教育の一環としての部活動などを通して、自主的・自律的運営力の育成を図る。

##### (4) 特別支援教育の充実

- ①特別支援学級「A組」の円滑な運営と「交流及び共同学習」を推進する。
- ②特別支援教室「かがやき」の円滑な運営と全教員の連携強化を図る。

#### ○ お知らせ 学校・家庭間連絡システム「すぐーる」の登録について

保護者から学校への欠席・遅刻の連絡だけでなく、学校からのお知らせや、緊急連絡等を送信しますので、まだ未登録の方は登録して下さるようお願いいたします。学校に在籍中は、一度登録することで年次更新されます。4月11日(火)より、遅刻・欠席の連絡は、「すぐーる」の送信でお願いしております。